

地域の仲間は、地域で守る！ 中三宅朗人クラブの取り組み

市内各地で『住民主体の地域づくり』が始まっています。
平和町の中三宅地区では、「認知症になっても安心して暮らせる中三宅」を合言葉に、中三宅朗人クラブ会員が中心となって「認知症声かけ・通報訓練」を行いました。

新しい試みを
案内するよ!!



1 認知症が疑われるかたに『優しく』声をかけます。
認知症役(麦わら帽子)は、橋本会長です。



2 認知症が疑われるかたの状態や現在地を警察に通報します。
1秒でも早い保護が安心に繋がります。



3 『あっちから来た。銀行に行きたい。』
稲沢警察署も全面協力です。



4 最後は、みんなで反省会です。
山崎老人クラブ連合会(祖父江町)のかたも視察にみえていました。

橋本さん (中三宅朗人クラブ会長)

『地域で安心して暮らしたい』というみんなの意識が今回の訓練につながりました。
今後は、中三宅朗人クラブだけではなく、地域全体で取り組んでいきたいです。

地域づくりのココがポイント!

ポイントは、『他人事ではなく我が事』として考えることです。
中三宅地区では、認知症の問題が起きていました。
この問題を、その『家族だけの問題』ではなく、『地域全体の問題』として考えようとしたことが今回の地域づくりに繋がりました。

地域づくりは、一人の悩みを『地域のみみんなで共有し、考え、行動すること』です。

生活支援コーディネーター 加藤 / 地域福祉コーディネーター 水野

※地域づくりのことなら、お気軽に社会福祉協議会までご相談ください。